



米沢「小さな親切」の会小さな親切ポスターコンクール特選（窪田小学校5年二瓶華さん）

## 特集

# 小さな親切が地域をつくる

あなたには、親切にした・された出来事がありますか。

人の親切に触れると、ほっと優しい気持ちになります。

今号の特集では、そんな「小さな親切」の心を地域の人々に根付かせる

ために活動している団体と、市民の皆さんのが実際に出会った親切を

紹介します。この機会に、「小さな親切」について考えてみませんか。

問合せ／社会教育文化課社会教育担当☎ 21-6111

親切は いつでも どこでも 誰にでも

他人への思いやりや、他人に感謝できる心を持つための「小さな親切」運動を進めて  
いる団体『米沢「小さな親切」の会』。今年創設50周年を迎え、活動内容や運動に取  
り組んできた思いについて、会長の種村信次さんにお話しいただきました。



## 米沢「小さな親切」の会 会長 たなむら しんじ 種村 信次さん

先代の思いを受け継いで

する地方の運動組織として発足し、おかげさまで今年で50周年を迎えました。市に、役員や会員とともに運営しています。

現在ではこの運動が全国各地で行われていますが、本会は「小さな親切」運動の趣旨に賛同した初代会長小嶋彌左衛門さんのもと、東北地方ではいち早く創設されました。初代会長は、本会のほか、県本部設立に向けた積極的な働きかけや、各地区支部設立への支援協力など、「小さな親切」運動の普及に努力を惜しみませんでした。

そのような初代会長の「小さな親切」運動への熱い思いが、運動を継続してい

私たちの活動の本務は、思いやりの心の芽を育て、住みよいまちづくりに貢献することです。

く中で会の皆さんにも浸透していき、現在の会につながっているのだと思いま  
す。私自身もその思いを受け継ぎながら、一生懸命、運動に取り組んできました。  
「できる親切はみんなでしよう」を合言葉に、現在も様々な活動を行っています。

多くの方々に贈呈しました。

また、夏には小中学生を対象とした小さな親切作文・ポスター・コンクールを実施し、入賞者を表彰しています。感動で胸がいっぱいになる、素晴らしい作品ばかりです。作文の入賞作品は全国の「小さな親切」運動本部に推薦しており、毎年2～3点が入賞しています。

ポスター・コンクールは米沢独自の取り組みで、優秀作品を掲載したカレンダー

主な活動として、小さな親切実行章の贈呈があります。小さな親切をした人を市民や米沢警察署などから推薦していたいただき、「小さな親切」運動本部に申請して、その行為を讃えて表彰するものです。道に迷っている人に声をかける、ごみを拾い地域をきれいにするなどの親切について、会発足以来約30000人を超える多くの方々に贈呈しました。

うものです。通報してから警察官が到着するまでの間、その場で一緒に待ちいたいたため、無事高齢者を保護することができました。通報者の年代は様々で、その勇気ある行動が、地域の高齢者を守ることにつながっています。

市内では、商業施設や飲食店、大学付近などで、無施錠が原因となる自転車の盗難が多発しています。このよだな時、無施錠

米沢警察署から、今年度はア  
件の小さな親切を推薦させてい  
ただきました。全てが高齢者の  
保護に関わることで、道に迷つ  
ている、徘徊している高齢者を  
発見し、警察署に通報したとい

## 小さな親切

地域を守る

小さな親切実行章には、米沢警察署から推薦された親切もあります。米沢にはどのような親切が多いのでしょうか。米沢警察署生活安全課長の吉田賢一さんにお話を伺いました。

## 親切に気づくこと

の発行と、小中学校はじめ公民館など市内施設への展示を通して、子どもたちの思いを地域の皆さんに伝えてています。さらに、地域の清掃活動を行うなど、会としても小さな親切の心を実際の行動に移してきました。

このような活動の輪を広げていくためには、継続的に活動に取り組んでいかなければなりません。会員をはじめとする、本会を支えてくださっている皆さんに感謝しながら、これからも地道な努力を積み重ねていきたいと思います。

小さな親切は、本当にたくさんあると思います。実行することも大切ですが、親切に気づき、感謝することも大切です。一人ひとりにそのような目線を持っていただき、米沢の小さな親切をさらに増やしていきたいです。ぜひお気づきの方はご推薦くださいをお願いします。

50周年を迎える私たちも「親切はいつでもどこでもだれにでも」の原点に立ち返りながら、小さいうちから思いやりの心を育てるお手伝いをしていきたいと思います。

警察官は、地域の安全安心のためにパトロールなどを行っていますが、どうしてもカバーしきれない部分が出てきてしまいます。まずは身近な犯罪から自分自身を守ることが第一ですが、周りにも目を向けていただきたいとありがたいと思います。ちょっととしたことでも、地域の安全安心につながることであります。連絡ください。その「小さな親切」が、地域を守ることにつながっていきます。

### 米沢市小・中学生 小さな親切 ポスター作品展



- ①小さな親切ポスター選考会の様子
- ②コンクールの優秀作品を展示する小さな親切ポスター作品展
- ③親切な心とおもてなしの心で、多くの観光客が訪れる上杉神社周辺をきれいにするクリーン作戦



### 「小さな親切」を推薦してください

あなたが見た、受けた親切をお知らせください。随時募集しています。

■推薦内容の例／毎朝、駅前のごみ拾いをしている、道に迷っている人を目的地へ送ってあげたなど

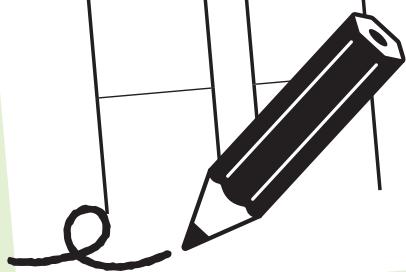
■推薦・問合せ先／米沢「小さな親切」の会事務局（社会教育文化課内☎ 21-6111）

生活安全課長  
吉田 賢二さん



# 私たちの

## 小さな 親切



### 骨折したことで…

米沢市立南部小学校 6年

小澤 おざわ  
壮斗 たけと

それは小学6年生のバレー、ボーリー県大会のことでした。ぼくは、12才にして三度目の骨折という大怪我をしてしまったのです。

前の骨折は、コロナの時期の春休みだったので、学校に行かなくてよかったです。でも、今回、夏休みが近いけれど、学校に行かなくてはならなかつたので、松葉杖での生活は大変でした。

まず教室が2階なので階段という大きな壁が立ちはだかって、ぼくは、危険と不安と隣り合わせで学校に行きました。  
「友達に何言われるのかな。」「松葉杖だからバカにされないかな。」

という思いでいっぱいでした。が、学校はそうではありませんでした。  
「足大丈夫?」「これ持つて行つてあげるよ。」

などのあたたかい言葉や親切な言葉、心配してくれる先生や、仲間がいっぱいいたので、ぼくは、すくなくうれしかったし、それまで後ろ向きだった怪我を、前向きに考

えられるようになつていきました。当たり前に学校に行けていた時よりも、骨折をしてからの数か月は、より学校の大切さや楽しさを知ることができました。

なかには、何も手伝ってくれない人もいました。そういう人がいるのも、当たり前です。だって、面倒くさい、あまりぼくと仲良くなきから…でも、イヤな気持ちになるような言葉や行動は、何一つありませんでした。

ぼくに手を貸してくれた仲間に、声を大にして言いたい。

「ありがとう。」

最初にあつた不安は学校に行くほど、どこかにいつてしまいまし

た。仲間のパワーってすごい。

ぼくは、足を骨折してしまったことで数えきれないくらいの迷惑

ない女子からもやさしくしてもうつたことがすくすくうれしかったです。

ぼくが困つているときに、手伝ってくれる人！ これも男女関係なくしてくれる仲間がいました。

給食を持ってくれる仲間やタブレットを取りに行つてくれる仲間、移動教室の時、一緒のペルや水筒などを持つてくれる仲間にはすごく感謝しています。

ぼくの仲間は、優しさ日本一！

と、仲間の時間をうばつてしましました。だから、この夏休みでしっかり足を治して、みんなにしてもうた親切をいっぱい恩返ししたいです。仲間からしてもらった親切は一生忘れません。

親切がきっかけで友達に仲間へ「ありがとう」

学校生活や下校時に、荷物を持ったりして助けてくれる仲間がいました。これがきっかけで今は友達になった人もいます。中でも一番うれしかったのが優しい声掛けでした。自分が逆の立場になったら、親切な声掛けをして助けてあげたいと思います。



## 「小さな親切」作文コンクール応募作品を紹介します

米沢「小さな親切」の会では、作文コンクールを実施しています。例年、小・中学生から、自分の体験を通して感動したことや思いを表現した多彩な作品が応募されます。今年度応募があつた小澤壮斗さんの作品と、昨年全国コンクールで入選した堀川しづくさんの作品を紹介します。

令和3年度  
「小さな親切」作文コンクール 全国入選

### 親切をつむいでいく

米沢市立第四中学校 二年

堀川 しづく  
ほりかわ

私と友達が自転車をこいでいた  
ら、通りすがりのおばあさんに駅  
への行き方を尋ねられた。私達は、  
駅への行き方を知らなかつた。し  
かし、おばあさんを放つておくわ  
けにはいかず、友達とおばあさん  
には日陰の涼しいところにいても  
らい、私は近くにあったコンビニ  
エンスストアの店員さんに聞きに  
行くことにした。

店に入ると、レジにいた女性が、  
「いらっしゃいませ。」  
と明るく大きな声で言った。私は  
その女性に駅への行き方を尋ね  
た。すると女性は、  
「少々お待ちください。」  
と言つて、レジから出て来てスマ  
トフォンを取り出した。そしてス

マートフォンの画面にマップを写  
し出して、徒歩か、車かを聞かれ  
た。おばあさんは何にも乗つてい  
なかつたので徒步と答えると、  
「この道を真っすぐ行くと着きま  
す。」

と、駅への簡単な行き方を教えて  
くださいました。

「お気をつけて。」

と、笑顔でおじぎをしてくださつ  
た。そのとき、私の顔は、自然と  
笑顔になつた。それと同時にとて  
も嬉しくなつた。「気をつけて」  
という短い言葉だけれど、心を込  
めて笑顔で言つてもらえたので、  
私はそれが、とても重要な言葉  
に思えた。

女性にもう一度お礼を言い、私  
は友達とおばあさんの待つてゐる  
場所に向かつた。二人のいる場所  
を見てみると、どちらも笑顔で樂  
しそうに話をしている。近づいて、  
「この道を真っすぐ行くと着くそ  
うです。」

と、女性に教えてもらつた駅への  
行き方を教えると、  
「わざわざ聞いてくれてありが  
とう。」

とほほえんで言われた。私は、  
「ああ、聞いてきてよかったです。」  
と心の底から思つた。おばあさん  
が駅に向かおうとしたとき、私は  
さつきの店員さんに言われたこと  
を思い出した。「お気をつけて。」

私はあれを言われたとき、とても  
嬉しかつたのだ。だから、このお  
ばあさんにも、私と同じように嬉  
しい気持ちになつてもらいたいと  
思つた。緊張しつつも思い切つて、  
「お気をつけて。」

と声をかけた。おばあさんは一瞬  
驚いたような顔をしてから、  
「ありがとうございます。」  
と言い、嬉しそうに笑つてくれた。  
その顔を見たとき、私は胸が熱く  
なつた。そして、私は親切は、する  
方もされる方も嬉しい気持ちになる  
ことができるということを知つた。

この体験を得て、私は人からし  
てもうつた親切を他の人にしてい

くことは、お互の心を明るく優  
しいものにしてくれるのだと気づ  
いた。小さな親切に気づき、それ  
をつむいでいく。私もそのような  
親切を他の人にしていきたい。世  
界中が優しさに包まれるように。

### 勇気を出して気づいた 親切はコミュニケーション

人見知りの私は、店員さんが明るく接しや  
すくしてくれたことで勇気を出すことができ  
ました。親切とは声掛けだけではなく、表情  
やコミュニケーションも大切だと気付きました。  
今後も、困っている人がいるときは、自  
分ができる最善を尽くしたいです。



9月7日(水)～14日(水)に市公式SNSで市内で出会った小さな親切のエピソードを募集しました。短期間にもかかわらず13件の心温まるエピソードをいただきました。ありがとうございました。その中から、7件を紹介します。紙面上で紹介できなかつたものは、市ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。



// あの日あの時よねざわで //

# 小さな親切を ありがとうございます

## 20代・窪田満田

3人目を妊娠中、スーパーで買い物をして帰ろうとした際に、50代くらいの女性の方が「大変だね。荷物持つよ」と言ってくださって車の中まで運んでくれました。駐車場も近くに停められず車まで遠かったのですごく助かりました。本当に感謝しています！



## 30代・中央7丁目

ヨーグベニマル成島町店にての出来事でした。生後半年の娘を抱っこして買い物にきて帰ろうとしたら外は大雨に…そのうち雷も鳴りひょうが降ってきました。呆然と立ち尽くしていたら70代くらいの女性の方が「赤ちゃんいて大変でしょう。傘持ってきてあげるから待ってて」と雨の中びしょ濡れになりながら傘をとってきてくださいました。その後その方が羽織っていた上着もかけてくださいました。あの時の御恩は一生忘れません。

## 20代・笹野本町

2歳になる子どもと三輪車でお散歩をしていた時に、反対車線に1台の自動車が来て止まってくれて60代～70代くらいの男性に「この先に猿いるから気をつけてね」と一言声をかけて頂きました。小さい子どもといたので危険を回避できたことに感謝します。ありがとうございました。



## 60代・万世町堂森

民生委員をさせて頂いております。担当している地区的70歳以上で暮らしている家庭に、見守りを兼ねてヤクルトを配達する「\*愛の一聲事業」をお勧めしました。先日「ヤクルト頂いたよ～主人が88歳なので、花一輪とメッセージまで頂いたよ～」ととても嬉しそうに御礼の言葉を頂きました。私も勧めて良かった嬉しさと、ヤクルトさんの優しい心遣いに感謝する想いでした。  
※「愛の一聲事業」の詳細は高齢福祉課にお問い合わせください。



娘が部活の帰り道、見ず知らずのおばあちゃんに「家がわからなくなつて帰られなくなってしまった！」と突然話しかけられて…。住所は番地までしっかり記憶していたのでスマホで検索してちゃんと家まで送り届け「そう！そう！ここ！ここ！」と喜んでくれたと。ほー、なかなかやるじゃんと誉めてあげました。親バカですがその優しさが嬉しかったです。



## 70代・御廟2丁目

いつも行くクリーニング店の方は荷物や大きい布団など車まで運んでくれます。足が悪いのですが助かってます。明るく元気な方でいつも笑顔で対応してくださるので元気を分けてもらっています。



## 40代・相生町7丁目

初めての出産でしかも高齢出産。産婦人科から救急車で市立病院へ。手術室で無事産まれた我が子に大泣き。手術室から病室へ運ばれてる時も大泣きの私を見て見知らぬおばあさんが頑張ったねと声を掛けてくれティッシュで涙拭ってくれました。見知らぬ私に優しくしてくれてありがとうございました。あの時は出産で不安いっぱいの心が救われました。

※スペースの都合上、応募内容の文字の一部を変更しています。